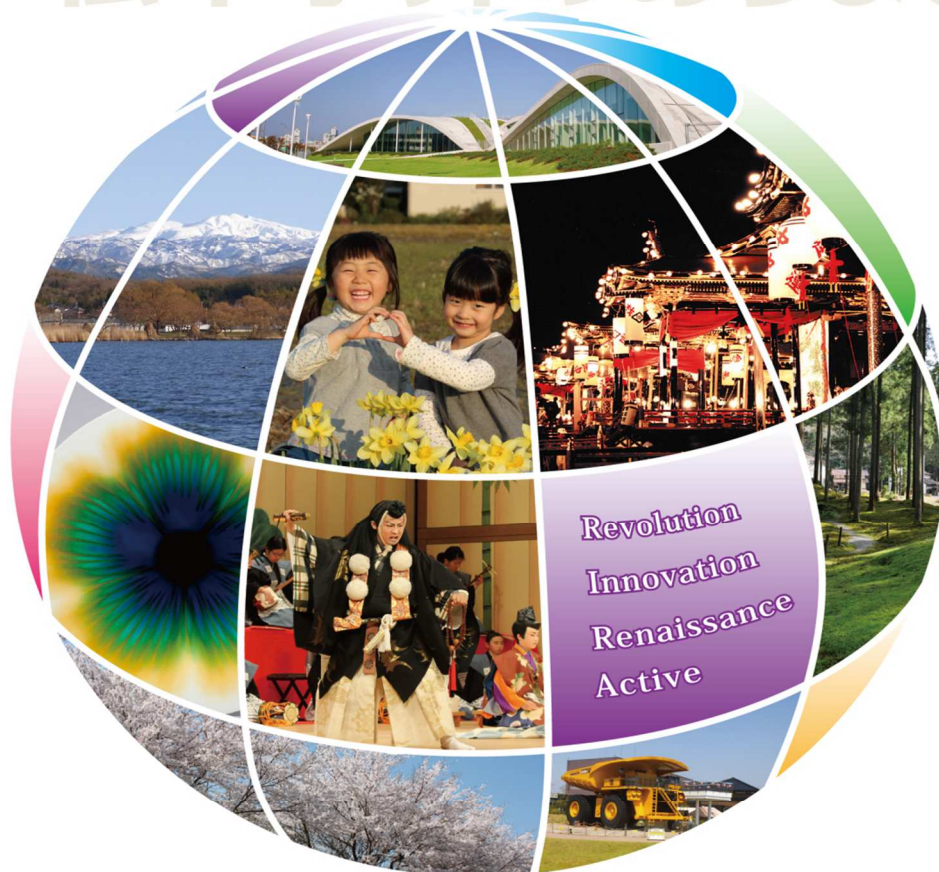


平成28年度 小松市予算のあらまし



「北陸の際立ったまち『国際都市こまつ』」を目指して

もくじ

	ページ
1. 予算ってなに？	1
2. 平成28年度の予算はいくら？	2
3. どんな収入があるの？	3
4. 予算は何に使うの？	6
5. 借金（市債）はいくらあるの？	9
6. 貯金はいくらあるの？	9
7. 主な施策の概要	10

1. 予算ってなに？（予算の仕組み）

地方公共団体は、新しい年度が始まる前に、1年間（4月1日から翌年の3月31日まで）の税金や補助金などの収入と1年間の行政サービスに使われる金額を見積ります。この見積りのことを「予算」と言います。

Q. どのような予算があるの？

市の予算は、使う目的によって一般会計、特別会計、企業会計に区分しています。

- 一般会計……税金などを使って、福祉、教育、道路や公園の整備、ごみ処理など市の基本的な仕事をする会計です。
- 特別会計……国民健康保険や介護保険など特定の事業をするために、一般会計とは別に保険料など特定の収入を集めて運営する会計です。
- 企業会計……上下水道や病院で、民間企業のように料金収入などの事業収益により運営する会計です。

Q. どうやって予算が決まるの？

市長が予算案をつくり、市議会の審議・議決を経て決まります。1年間の予算で一番最初に決まる予算を「当初予算」といいます。

Q. 年の途中で予算を変えることはないの？

変えることがあります。「補正予算」といいます。当初予算を変更する必要があるときは、市長が予算の変更案をつくり、当初の予算と同じく市議会の審議・議決を経て変更します。

Q. 予算を使ったあとは？

年度が終わり、1年間の入ってきたお金と使ったお金の結果を「決算」といいます。年度が終わった後、決算書を会計管理者（お金の出し入れを管理する職員）が作り、市長が市議会の認定を受けます。

2. 平成28年度の予算はいくら？

Q. 会計別の予算はいくら？

一般会計	423億6,000万円	(前年度比 +17億円	4.2%増)
特別会計	337億2,400万円	(前年度比 +10億6,580万円	3.3%増)
企業会計	215億7,300万円	(前年度比 +12億 160万円	5.9%増)
全会計	976億5,700万円	(前年度比 +39億6,740万円	4.2%増)

・内訳表

(単位：億円)

		28年度	27年度	増減額	増減率
一	般 会 計	423.6	406.6	17.0	4.2 %
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	125.3	129.8	△ 4.5	△ 3.5 %
	簡 易 水 道	0.4	0.4	0.0	0.0 %
	農 業 集 落 排 水	7.0	5.9	1.1	18.6 %
	介 護 保 険	95.7	94.9	0.8	0.8 %
	公 債 管 理	87.5	82.2	5.3	6.4 %
	工 業 団 地 造 成	8.6	1.1	7.5	681.8 %
	後 期 高 齢 者 医 療	12.7	12.3	0.4	3.3 %
	小 計	337.2	326.6	10.6	3.3 %
企 業 会 計	水 道	30.9	31.0	△ 0.1	△ 0.3 %
	公 共 下 水 道	92.7	82.7	10.0	12.1 %
	市 民 病 院	92.1	90.0	2.1	2.3 %
	小 計	215.7	203.7	12.0	5.9 %
合 計	976.5	936.9	39.6	4.2 %	

△はマイナスを表す。

Q. 予算の特徴は？

一般会計…歳入（収入）では、市税（税金）において法人市民税の減収が見込まれるため、前年度から6.2億円減少します。

歳出（支出）では、建設事業費が前年度から5.5億円、社会保障費が10.7億円、人件費が1.5億円増加となり、全体で前年度比17億円の増加となりました。

特別会計…国民健康保険は、短期労働者への社会保険適用の拡大など被保険者の減により4.5億円減少します。

介護保険、後期高齢者医療の2つの会計では、医療費や介護費などの社会保障費の増や低所得者対策により前年度から1.2億円増加します。

農業集落排水では、那谷地区施設の管路工事などを行います。

企業会計…公共下水道は水質保全として中央浄化センター水処理1系の改築工事を実施し、市民病院ではガンマカメラなど高度医療機器の更新を行います。

3. どんな収入があるの？

一般会計収入
423.6億円

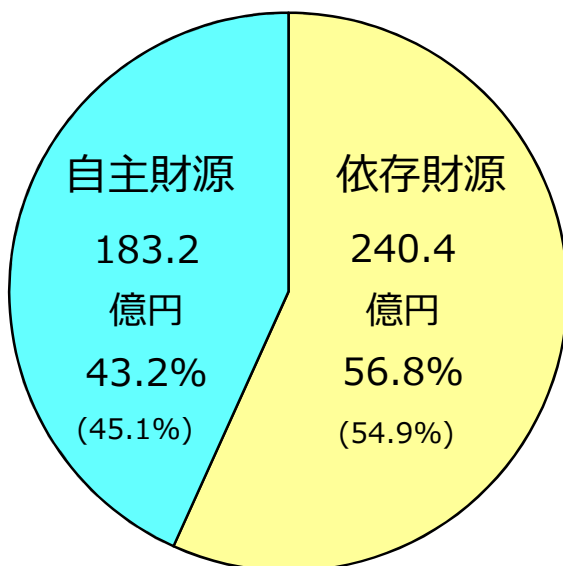
自主財源	市税	皆さんが納めた税金です。	151億8千万円
	負担金や使用料	保育料や施設の使用料などです。	8億4千万円
	繰入金	年度調整のため、貯金から取り崩す額です。	9億8千万円
	諸収入など	資源ごみ売却収入など他に区分されない収入です。	13億2千万円
依存財源	国・県支出金	国や県からの補助金です。	99億円
	地方交付税	全国で一定の行政サービスを提供するためなどで、	60億2千万円
	譲与税・交付金	国や県からもらえるお金です。	31億4千万円
	市債	銀行などから借り入れる市の借金です。	49億8千万円
合 計			423億6千万円

Q. 自主/依存財源の割合は？

「自主財源」とは、市が自主的に収入しうる財源です。市税、負担金や使用料、繰入金などがあります。

「依存財源」とは、国や県により決定される財源です。国・県支出金、地方交付税、地方譲与税、市債などがあります。

平成28年度予算 自主・依存財源割合



ポイント！

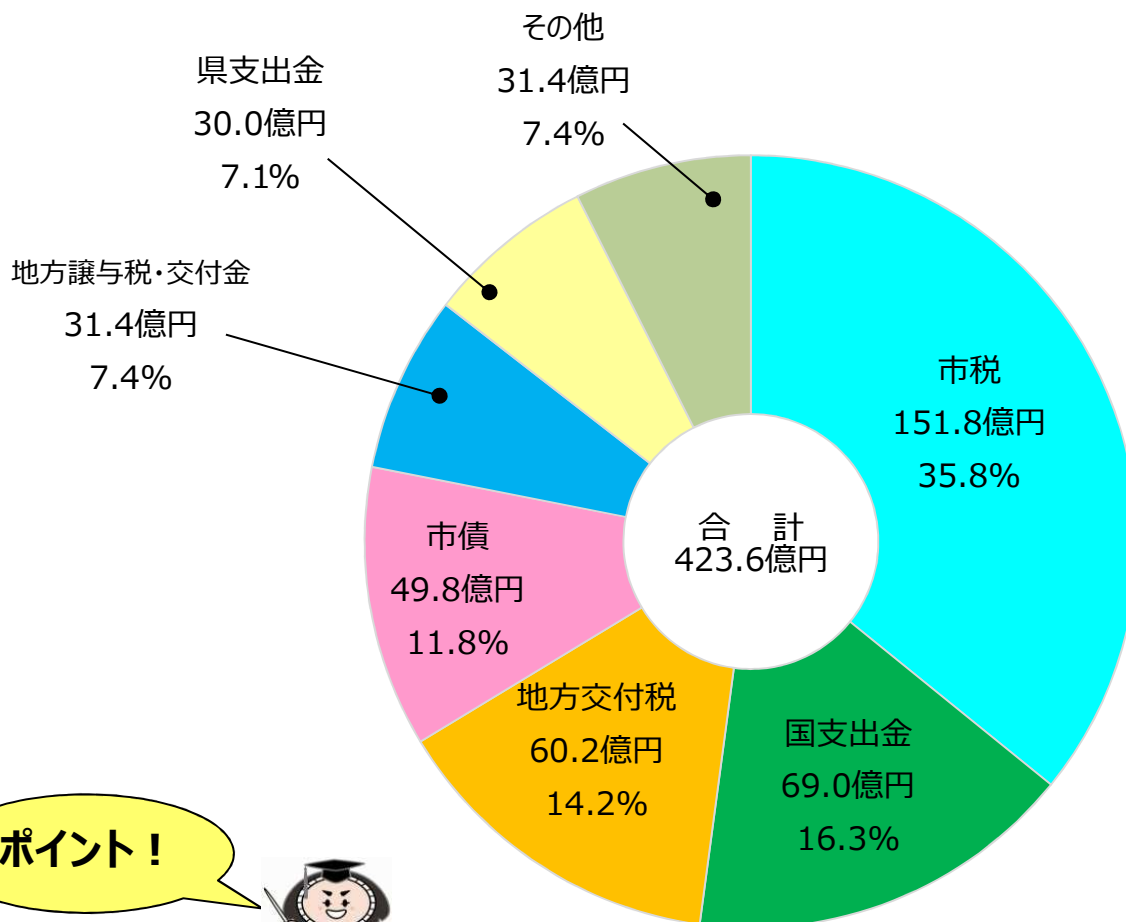
小松市の一般会計の収入のうち、
約43.2%が「自主財源」です。
約56.8%が「依存財源」です。



安定的な収入を確保するため、「自主財源」の比率を上げていくことが大切です。

※()内は、H27年度の数値

Q. 一般会計収入の内訳は？



ポイント！



- 市民の皆さんが納める税金が、収入の35.8%をしめます。
- 地方交付税は60億2,000万円で、前年度から1億5,000万円増加しています。
- 地方消費税交付金は21億6,000万円で、堅調な消費動向により前年度から2億9,000万円増加しています。
- 市債（借金）は建設事業の増加により、前年度より9億3,000万円増加しています。

・市税の内訳

項目	金額 (万円)	対前年比
・固定資産税（土地や家屋を所有している人が納めます）	65億8,000万円	+ 1.2%
・個人市民税（所得に応じて納めます）	54億8,000万円	△ 0.4%
・法人市民税（会社の利益に応じて納めます）	11億7,000万円	△ 38.4%
・軽自動車税（軽自動車を持っている人が納めます）	2億6,300万円	+ 19.5%
・市たばこ税（タバコを買った人が納めます）	7億4,000万円	△ 0.5%
・その他（入湯税や都市計画税）	9億4,700万円	+ 1.2%

・国・県支出金

特定の目的（道路をつくるなど）のために国や県から交付されます。

- ・国庫支出金 68億9,888万円
- ・県支出金 30億 56万円

・各種交付金の内訳

- ・利子割交付金 2,700万円
- ・配当割交付金 8,700万円
- ・株式等譲渡所得割交付金 4,000万円
- ・地方消費税交付金 21億6,000万円
- ・ゴルフ場利用税交付金 6,200万円
- ・自動車取得税交付金 6,000万円
- ・地方特例交付金 6,000万円
- ・交通安全対策特別交付金 1,400万円
- ・国有提供施設所在市助成交付金 2億7,500万円

・地方交付税

地方自治体の税収の不均衡を調整し、全国の地域も一定の行政サービスを提供できるように、国から交付されます。金額は、自治体の財政状況によって決まります。

- ・普通交付税 53億5,000万円
- ・特別交付税 6億7,000万円

・地方譲与税

国税として徴収した収入の一部を一定の基準により地方自治体に譲与されます。

- ・自動車重量譲与税 2億4,000万円
- ・航空機燃料譲与税 1,000万円
- ・地方揮発油譲与税 1億円

・その他の収入

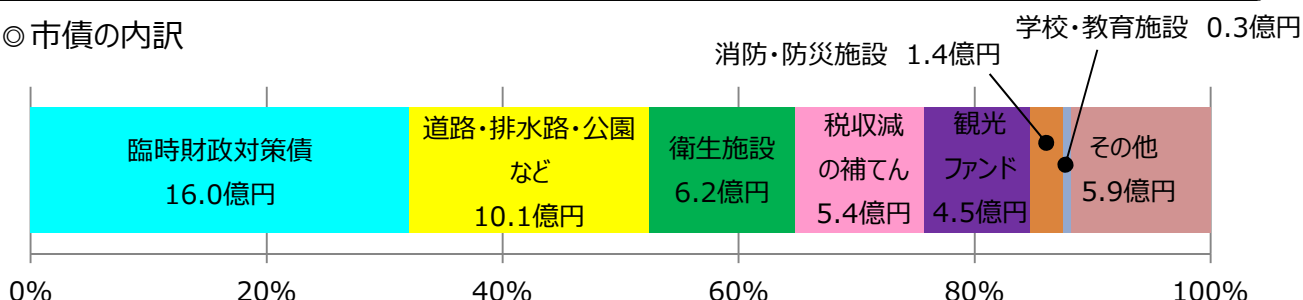
- ・分担金及び負担金（保育料など） 2億4,177万円
- ・使用料及び手数料（施設使用料や住民票手数料など） 5億9,846万円
- ・財産収入（土地などの売却収入や基金の利子など） 1億7,313万円
- ・繰入金（基金からの繰り入れ） 9億7,521万円
- ・繰越金（前年度からの繰り越し） 1千円
- ・諸収入 10億5,609万円

Q. 借金をするのはなぜ？

道路や防災対策には一度に多額の経費がかかります。そのお金を調達する1つの手段として借金をすることがあります。道路などは将来にわたり長く使われるため、長期に借入れる借金には世代間で公平に負担するという役割があります。

そのほか、国から地方交付税としてもらえるお金が、国の事情により減らされ「臨時財政対策債」として市が借金をしています。

◎市債の内訳



4. 予算は何に使うの？

義務的経費

人件費	56億6,136万円
扶助費	90億2,608万円
公債費	65億5,560万円
小計	212億4,304万円

毎年、必ず支出しなければならない経費です。

- ・人件費…職員の給料など
- ・扶助費…子どもや障がい者、高齢者などの福祉や医療にかかる経費
- ・公債費…借金の返済にかかる経費

一般行政経費

物件費	54億8,526万円
補助費等	18億5,490万円
維持補修費	1億8,591万円
一部事務組合負担金	1億862万円
上下水道・病院への交付金	30億5,097万円
小計	106億8,566万円

施設の維持管理費や、行政サービスを行うための事務経費です。

- ・物件費…光熱水費や消耗品費、通信費など
- ・補助費等…特定の事業や研究を行う公益団体に対する補助金など
- ・一部事務組合負担金…複数の自治体が共同で事務を行う組合に対する小松市の負担金
- ・上下水道・病院への交付金…事業の公益性から、費用の一部を国の基準に基づき負担する経費

投資的経費

普通建設事業(補助)	39億4,339万円
普通建設事業(単独)	19億9,887万円
小計	59億4,226万円

道路や公園、防災・減災対策など、建設事業にかかる経費

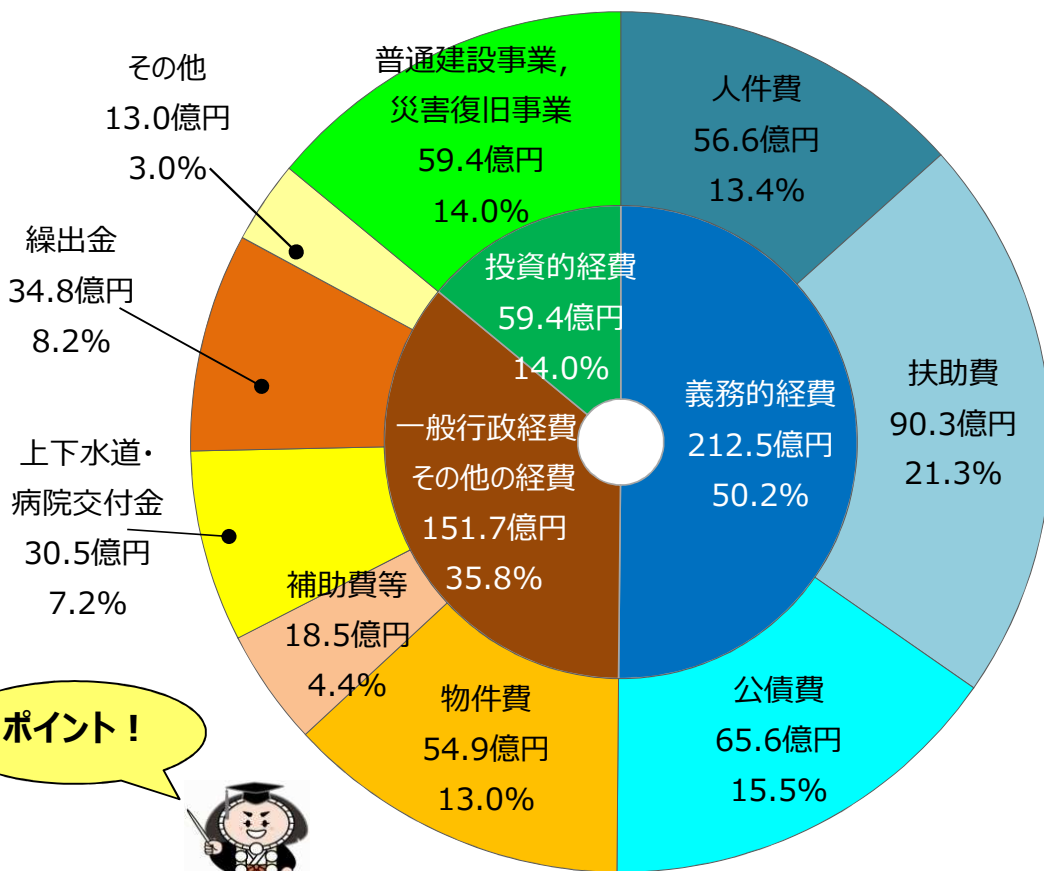
その他の経費

積立金	3億1,446万円
貸付金	6億8,176万円
繰出金	34億8,282万円
予備費	1,000万円
小計	44億8,904万円
合計	423億6,000万円

上記以外の経費です。

- ・積立金…基金（市の貯金）への積立
- ・繰出金…特別会計に対し負担する経費
国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療の社会保障にかかる特別会計への負担分です。
- ・予備費…緊急に支出が必要となったときのために準備している予算

Q. 一般会計の支出の内訳は？



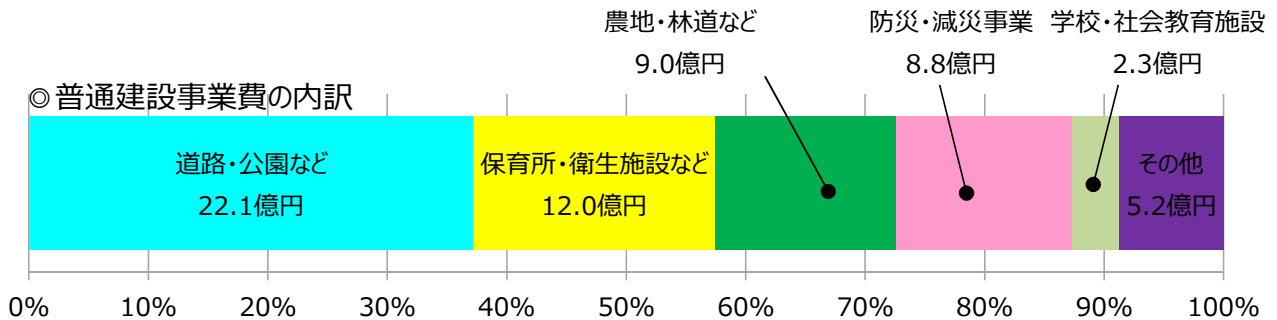
ポイント！



- 義務的経費は、前年度から約9億4,000万円増加し、全体の半分を占めています。前年度と比較して、人件費は退職職員増加により約1億5,000万円、扶助費は子育て支援などにより約8億2,000万円増加しました。
- 一般行政経費は、国民健康保険事業における低所得者への保険税軽減分や財政安定化支援により繰出金が約2億4,000万円増加しました。
- 普通建設事業は、道路やごみ処理施設など公共施設の整備により前年度から5億5,000万円の増額となりました。
- 固定費（人件費（退職手当除く）、公債費利子償還金、光熱水費等）を2億7,000万円削減しました。
- 国の平成27年度補正予算を積極的に活用し、小学校校舎・体育館リニューアル等5億9,000万円を平成27年度に前倒しました。

① 普通建設事業費

平成24年度に小・中学校耐震化100%を達成し、平成25年度にはサイエンスヒルズこまつや曳山 交流館みよさ、平成27年度には消防救急デジタル無線整備などの大型事業が完了しましたが、引き続き道路整備や橋りよの耐震化、ごみ処理施設、防災行政無線など安全・安心な暮らしに必要なインフラ整備や、まちの賑わいを創出する(仮称)小松駅南ブロックの複合施設建設助成などにより前年度に比べて5億5,000万円の増額となりました。

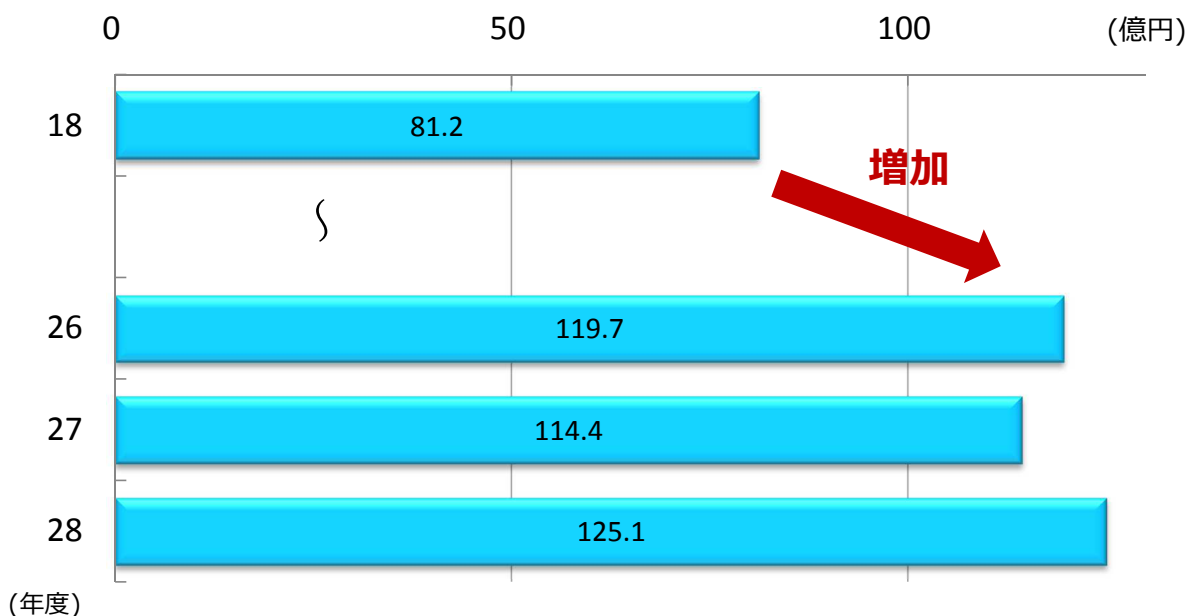


② 社会保障費

少子・長寿社会の進展により、社会保障費は年々増え、10年前に比べると43.9億円増加しています。

平成28年度は保育園の認定こども園移行増(21園→26園)による児童運営費、子どもの医療費無料化の通年化などの子育て支援や障がい者入所・在宅等支援の増加などにより、前年度に比べて10.7億円増額となっています。

◎ 社会保障費の推移

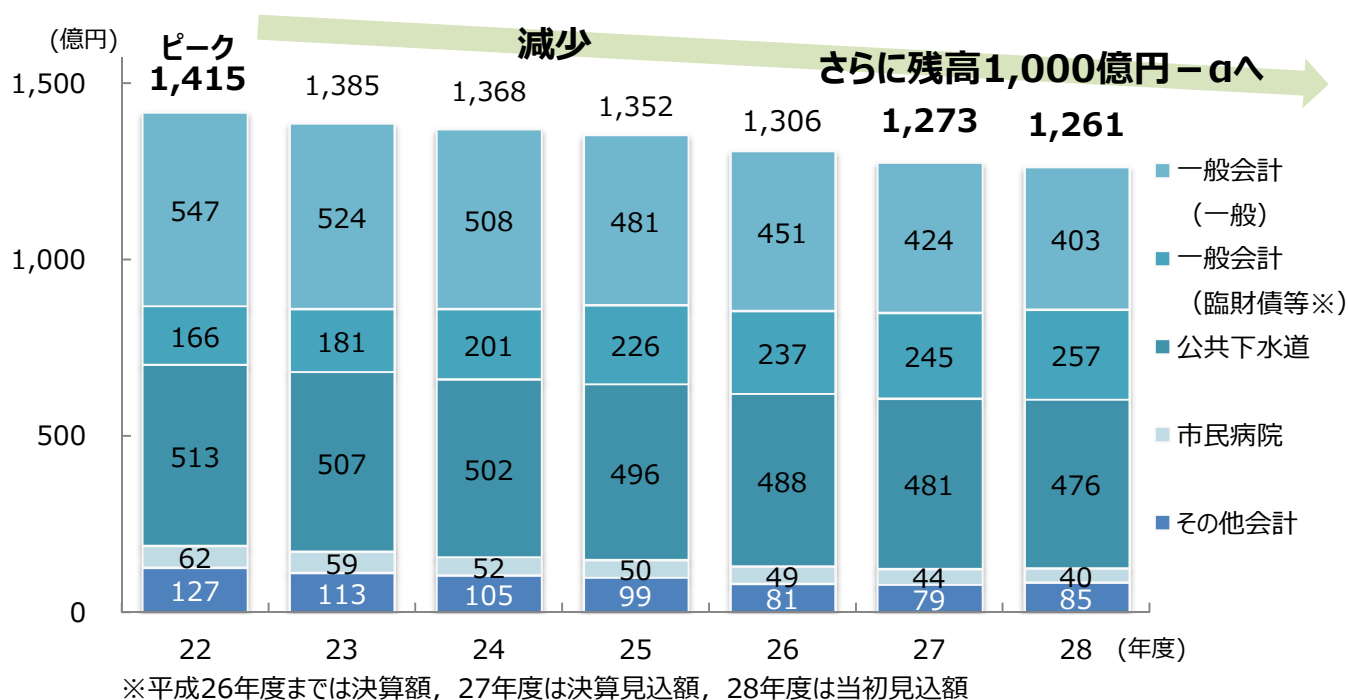


※平成26年度までは決算額、27・28年度は予算額

5. 借金（市債）はいくらあるの？

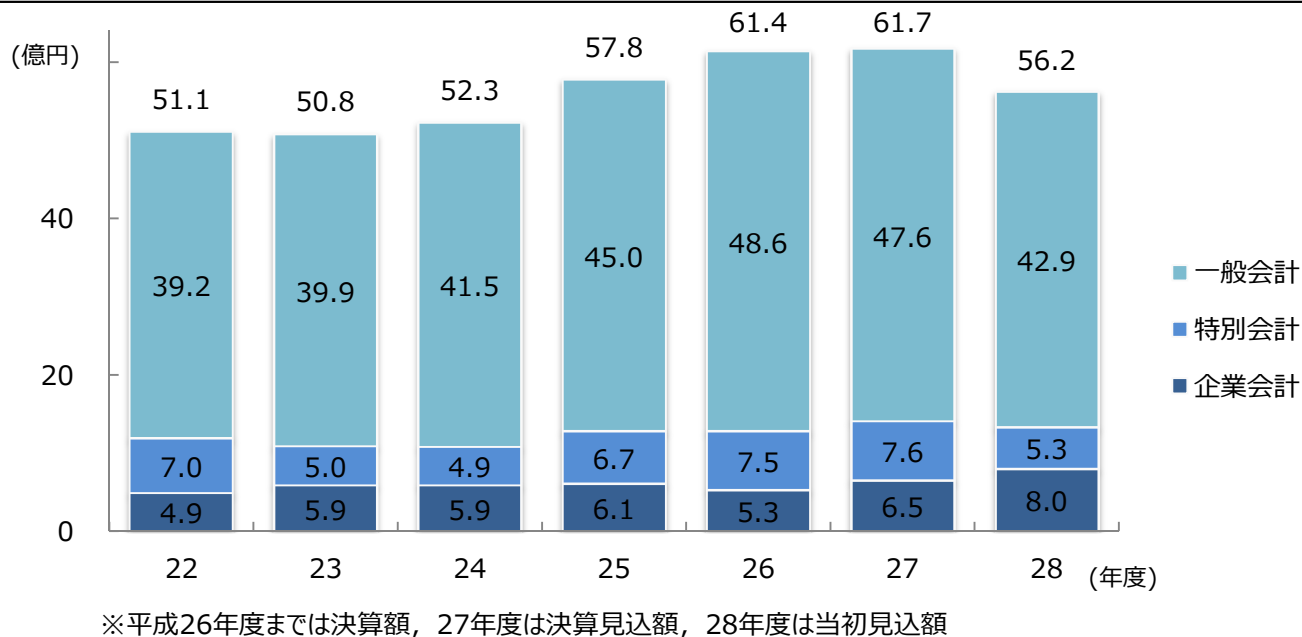
小松市の借金(市債)の残高は、繰上償還等を行ってきたことなどにより着実に減少に転じています。平成27年度末の残高は、前年度より約33億円改善し全会計の残高は約1,273億円となる見込みです。

NEXT10年ビジョンでは平成37年度末の市債残高「1,000億円-a」を目標としており、将来負担のさらなる軽減に努めていきます。



6. 貯金はいくらあるの？

平成27年度末の貯金残高は61.7億円となる見込みですが、平成28年度は一般会計では年度間の財政調整のため4.7億円の減少、特別会計では国民健康保険税の減額分を補てんしたため2.3億円減少となります。今後、借金の減少と合わせて貯金の確保に努めていきます。



10年ビジョンからNEXTへ

～共創とひとづくりを原動力に～

7. 主な施策の概要

平成28年度に実施する事業のうち、主なものをテーマ別にお知らせします。

① 日本一「おもしろい」まちに ～変革と成長しつづけるひととまち～

北陸新幹線建設推進

2億6,020万円

北陸新幹線金沢－敦賀間の建設負担金



(仮称)小松駅南ブロック複合施設 建設助成

8,000万円

小松駅南ブロック学びのゾーンなどへの建設助成



北国街道無電柱化整備

2,760万円

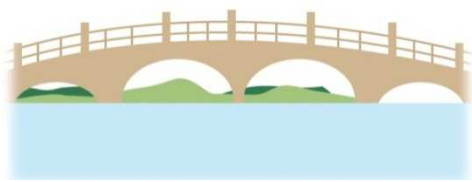
市道龍助町九竜橋線の無電柱化
(龍助町～西町)



向本折大橋整備

2億850万円

向本折大橋の耐震化工事（～平成29年）

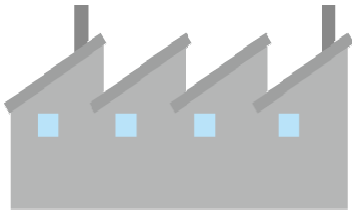


② 日本一「たくましい」まちに～進化する科学技術が躍動するひとまち～

産業団地造成（正蓮寺エリア）

8億5,790万円

正蓮寺エリアの産業団地造成
(H29年初 公募開始)



本社機能等企業立地助成

1億2,000万円

創エネルギー設備への支援など企業立地助成
制度の拡充



トマトと米の商品化・販路拡大

300万円

小松とまと・お米の商品化・販路拡大



ワーク・ライフ・バランスの推進

460万円

「女性の活躍推進とワーク・ライフ・バランスを
考える協議会」によるワーク・ライフ・バラン
スの推進



（仮称）エコロジーパークこまつ・クリーン センター建設

9億7,930万円

（仮称）エコロジーパークこまつ・クリーンセン
ター建設（平成30年7月稼働予定）



ごみダイエット50%

4,150万円

ごみダイエット袋導入（10月～）によるごみ
減量とリサイクルの推進



③ 日本一「こちよい」まちに ～新たなライフスタイルを楽しむひととまち～

せせらぎの郷リニューアル

3億6,800万円

里山健康大学としてリニューアル



がん対策

1億1,000万円

がん検診の自己負担額軽減
(約3割→約1割)



定住促進

7,180万円

3世代などの定住促進, 結婚生活スタート
アップ支援(マルB作戦)



心身障がい者医療

2億7,850万円

心身障がい者医療費の助成拡充
(身体障がい者3級全員対象へ)



通学路の整備

5,300万円

児童・生徒の通学路の安全対策を計画的
に実施



認知症施策推進

1,160万円

こまつ認知症トータルサポート「ほっとけん」による
切れ目ないサポート



こまつ認知症ほっと犬

Ben



ニャンとかするにゃんこ

Kei

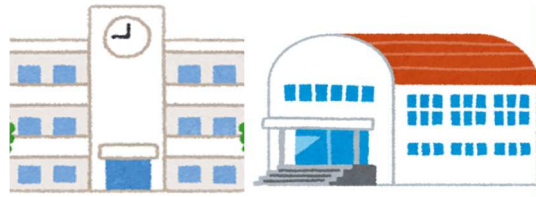
④ 日本一「はつらつ」としたひととまちに～チャレンジしつづけるひととまち～

学校校舎・体育館のリニューアル

3月補正

1億100万円

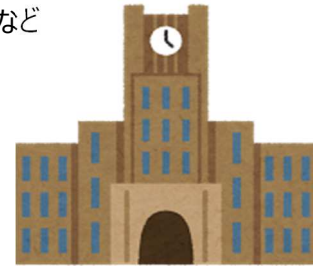
小中学校の校舎(1校)・体育館(3校)のリニューアル



公立4年制大学設立

8,200万円

公立4年制大学開学に向けた認可申請や各キャンパスの改修など



わがまち環境整備助成金

2,400万円

わがまち環境整備助成金の拡充
(町道整備, バス停整備追加など)



市民センター改修

1億6,330万円

市民センターの特別集会施設・老人福祉施設などのリニューアル



⑤ 10年後の素敵なこまつをめざして

- 特別職人件費 市長△10% 副市長・教育長△5% △2,817千円
- 市債繰上償還【3月補正】 将来負担の軽減 100,000千円

平成28年度小松市予算のあらましについて

もっと詳しく
知りたい方は…

小松市HPの組織別案内(財政課)のページをご覧ください。

[発行]平成28年4月 小松市総合政策部財政課
〒923-8650 石川県小松市小馬出町91番地
TEL: 0761-24-8144 (直通) FAX: 0761-24-8190
メール: zaisei@city.komatsu.lg.jp
HP: <http://www.city.komatsu.lg.jp/zaisei/>